

## 令和六年群馬工業高等専門学校 入学式式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本日、ここに本科生 205 名、留学生 2 名、専攻科生 41 名、合わせて 248 名をお迎えすることになりました。在学生、教職員一同、心から歓迎いたします。

皆さんが入学されたこの群馬工業高等専門学校は、高等専門学校制度創設と同じ、1962 年（昭和 37 年）、実践的・創造的技術者を養成することを目的とした 5 年間一貫教育を行う高等教育機関として開校されました。また、2 年制のより高度な専門教育を行う専攻科も、1995 年（平成 7 年）に設置されました。

本校では、「科学技術を通し、地球と人の調和をはかり、人類の繁栄に貢献できる人材を育成する。」ことを教育理念として教育・研究活動に取り組んでおり、本年 3 月で、本科・専攻科をあわせて 1,032 名の卒業生・修了生を輩出し、それぞれ幅広い分野で活躍されています。

さて、皆さんは、こんなことを勉強したい、研究したい、こんなエンジニアになりたい、部活や各種コンテスト等にチャレンジしてみたい等々、それぞれに叶えたい夢や目標、想いを持って、この群馬高専に入学されたことと思います。

夢や目標を叶えるためには、知識や技能の習得はもちろん、ポジティブなマインドセット、そして協力してくれる人たちとのつながりが必要不可欠です。

本日からの高専生活では、勉強や実習・研究はもちろん部活動や各種コンテスト、さらには大学や自治体、企業等と連携した取組も行われており、学校内外においてチャレンジできる機会が多数あります。また、それらを支えるための施設設備等も整備されています。もちろん、我々教職員も、皆さんの学習を、そして様々な取組、チャレンジを、全力で支えていきます。

皆さんのその夢や目標、想い、ぜひ、群馬高専で叶えましょう！

ところで、今年はオリンピックイヤーです。夏のオリンピック・パラリンピックに向けて、「日本代表に決まった」といったニュースやインタビューなどが報道されています。

代表に選ばれた選手達の言葉には、ポジティブさと良い意味での貪欲さに溢れています。「絶対に勝つ」「精一杯やる」とは言っても、「負けるかも」「無理かも」といったネガティブな言葉はあまり聞くことがありません。

こういったインタビューを見聞きするたびに、ふと思うことがあります。

もしかすると、「日本代表に選ばれないかもしれない」「メダルを取れないかもしれない」などと最後まで考えず、ポジティブに目の前の試合をひとつひとつ勝つことだけを考えている人こそが、代表に選ばれ、メダリストになっていくの

ではないだろうか、自らの目標を達成し、夢を「叶え」ていくのではないかと。

そういえば、「叶う」という漢字は「口偏」に「プラス」と書きますが、夢や目標を「叶える」ためには、自分を信じ続けること、そしてそれを実際に口にして、想いを強めていくことが、何より重要なのではないだろうか…と思うのです。

人は、成長するに従って、様々な課題に直面します。そして「現実には思った通りにはいかないぞ…」と思い始め、ついには「無理」「できない」と思ってしまいます。でも、そう思った瞬間から、本当にできなくなってしまうのではないかと。

逆に言えば、「自分はできる」と信じている限り「可能性」は残っているのだと思います。その分、努力することもでき、可能性を高めていくこともできるのではないのでしょうか。

他方、「吐く」という漢字は「口偏」に「プラス」と「マイナス」と書きます。

辛いときには弱音を吐いてもいいんです。辛いこと、言い訳、そういった「マイナス」なものは、どんどん口に出して、自分の中から追い出してしまいたいでしょう。

そうして「マイナス」なモノが無くなれば、残るのは「叶える」べき「プラス」なもの、すなわち、自分の夢や目標です。夢や目標を、また、それを「叶えたい」という想いを積極的に口にするようにしましょう。そうすれば、自分を信じ続け、想いを強めることができ、もしかすると助けてくれる人もいるかもしれず、ひいては、夢や目標を「叶える」可能性を高めていくこともできるでしょう。

ぜひ今日から実践してみてください。そして、皆さんの夢や目標を叶えるため、一緒に頑張っていきましょう！

保護者の皆様、本日は、誠におめでとうございませう。また、ご来賓の後援会会長の吉田様、御多用の中、ご参会いただきありがとうございます。

高専は、中学・高校とは異なる高等教育機関であり、学生たちの自主性を尊重した教育を行っております。もしかしたらこのような教育環境に戸惑うこともあるかもしれませんが、皆様の温かい見守り、励ましが、学生にとって、なによりの支えとなります。ぜひご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

改めて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。

皆さんがここ群馬高専において様々なことにチャレンジし、有意義な学生生活を送られるとともに、夢や目標等を叶えられることを祈念して、式辞といたします。

令和6年4月4日

群馬工業高等専門学校 校長  
三 谷 卓 也